

ヴィルフリート・シャルフ

オーストリア生まれ。チターをインスブルックの音楽学校で勉強し 1985 年に卒業。

1989 年からリンツにあるアントン・ブルックナー音楽大学チター科開設に成功し 2010 年教授に就任。レパートリーは、民族音楽からクラシック、新しい感覚の音楽や世界の音楽まで幅広い。

ソリストとしてウィーン交響楽団（ブレゲンツ音楽祭）、フェニックス交響楽団、オーストリアのヨハン・シュトラウス・アンサンブルとともに活動し、ミュンヘン放送交響楽団、又、カナダの有名プロデューサー、アッティラグラッツと契約しトロント、ピッツバーグ、バンクーバー、ヴィクトリア、サンディエゴ、ハミルトン、フィラデルフィア、ニューヨークで演奏し大成功を収める。

2014 年ウィーンフィル”ニューイヤーコンサート”でダニエル・バレンボイム指揮のもとヨハン・シュトラウスのウィーンナーワルツをソロ演奏する。

シベリア、アバカンのチャッカン・フェスティバルとウラン・ウデやヤクーツクでのフェスティバル「ユーラシアの音」にチター音楽の代表として招待され、またモスクワのグネーシン音楽アカデミーでコンサートやマスタークラスも行う。

ドイツ、スイス、スロヴェニア、オーストリアでのセミナーも開催。

1992 年より自身のアンサンブル「ザルツブルク・ザイテンクラング」とともに演奏活動し世界的に高い評価を受けている。

2019 年オーストリア大使館、オーストリア文化フォーラム、日唄文化協会後援のもと、日唄友好 150 周年記念「ヴィルフリート・シャルフ&吉田美里デュオコンサート」を国内 6 カ所で開催、ALM レコードより CD「ヴァイオリンとチターの出会い」をリリース。

吉田美里

松江に生まれる。8 歳よりオーストリア・レーテルシュタインのオーケストラキャンプに参加。第 4 回日本クラシック音楽コンクール全国大会で秀演賞を受賞。

第 1 回宮崎国際室内音楽祭にてアイザック・スターンのヴァイオリン講習会のオーディションに合格。

第 13 回摂津音楽祭で奨励賞を受賞。島根大学教育学部附属中学校を卒業と同時にウィーン国立音楽大学に進学し、2006 年同大学卒業、2009 年同大学院修了。

ウィーンを拠点とし、2004 年よりウィーン・ムジークテアター協会主催のリサイタルに毎年出演、ハンガリーの Magyar Rádió Bartók 主催ラジオライブコンサート「クラシックとジャズエキストラ!」に出演、ペルーのインカ祭に招待され、Municipalidad de Cusco, Instituto Nacional de Cultura 主催「Concierto de Musica Clasica」リサイタル出演など国内外の数多くのコンサートで成功を収める。広島ピースアーチプロジェクト「ひろしま平和発信コンサート」に出演し好評を博す。

また東日本大震災、熊本大震災の復興支援チャリティーコンサートや著名人とのコラボ、幼稚園、小・中学校でのコンサートの他、ボランティア活動にも力を入れている。

2012 年、オクタヴィア・レコードより CD「グリーグ:ヴァイオリン・ソナタ第 3 番」をリリース。ミュンヘンでプロデュースされた YouTube 動画「Misato Yoshida “Die roten Libellen” 赤とんぼ幻想曲」も国内外から多数アクセスされている。

2019 年オーストリア大使館、オーストリア文化フォーラム、日唄文化協会後援のもと、日唄友好 150 周年記念「ヴィルフリート・シャルフ&吉田美里デュオコンサート」を国内 6 カ所で開催、ALM レコードより CD「ヴァイオリンとチターの出会い」をリリース。

徳永二男、ウツラ・シュルツ、カリン・アダム、クラウド・メッツェル、ビルギット・コーラ、レオニード・ソロコフの各氏に師事。

